

さけ稚魚の海水移行（唐桑）について

■気仙沼市魚市場における昨シーズンの秋さけ水揚げ金額は396,323千円で、その4割以上が宮城県漁業協同組合唐桑支所所属の漁業者によるものです。

■唐桑地域では、定置網や刺網でさけを漁獲しますが、漁場は気仙川の流域に広がる広田湾も含まれており、気仙川から放流されたさけも漁獲することとなるため、岩手県と連携した資源管理が求められています。

■そのため岩手県広田湾漁業協同組合が実施する気仙川さけふ化放流事業により生産した稚魚の一部を気仙沼市大川水系さけます増殖協会が買い上げ、唐桑海中飼育を実施することで回帰率の向上に努め、広田湾でのさけ資源増殖に貢献しています。

■本地域沿岸漁業にとって貴重なさけ資源の確保を図るため、関係機関や漁業者と協力し、平成27年度のさけ稚魚の海中飼育を下記のとおり実施いたします。

【さけ稚魚の海水移行（唐桑）の概要】

- 日 時 平成28年3月14日（月）午前9時30分から
※当日は乗船等の準備がありますので、午前9時15分までに下記の場所に集合願います。
- 場 所 大沢漁港（気仙沼市唐桑町竹の袖地内）
※広田湾漁業協同組合気仙川ふ化場（岩手県陸前高田市矢作町字小嶋部105）からの稚魚搬出作業は、当日午前8時50分から開始する予定です。
- 放流尾数 約100万尾
※体重0.90g/尾（平成28年3月4日現在見込み）
- 事業主体 気仙沼大川水系さけます増殖協会（事務局：産業部水産課）
会長 気仙沼市長 菅原 茂
- 実施主体 宮城県漁業協同組合唐桑支所
- その他 当日の海面状況等により延期することとなった場合は、幹事連絡によりお知らせします。